

VI各支部の活動報告

各支部・連絡所では、会員の皆様がボランティアとして、それぞれの地域で出来る限りの動物救援活動を展開しました。改正・動物の愛護及び管理に関する法律の周知に力を注ぐと共に、飼育管理相談、新しい飼い主探し、不妊・去勢手術の推進などの活動を続けています。

ここに皆様の活動の姿をお伝え致します。

支部・連絡所名	支部長
北海道支部	川口谷 正
栃木支部	川崎亜希子
新東京支部	井上留美
横浜支部	古川西季
相模支部	佐藤洋文
南大阪支部	山移千鶴
阪神支部	恵子・レファート
徳島支部	福山 守
三重連絡所	山口順子 (所長)

北海道支部

Hokkaido Branch

◎ 活動状況

支部に寄せられた相談件数は、猫の多頭飼育苦情が2件、犬の引き取り依頼が4件、野良猫餌付け苦情2件です。このうち、野良猫餌付け問題は近隣のコミュニケーションとのかかわりで、相談者から取り下げられるなど本質的な解決を見ないで終わっています。



札幌市動物慰霊祭

年中行事の動物愛護週間や、小動物の慰霊祭には協会の立場で参加してまいりました。

◎ 動物福祉の現況

北海道は、政令市の札幌市を除く市町村の動物行政を所管しています。したがって、詳細な行政データは各市町村に委ねられており、一括されたものではありません。このため、動物福祉の現況は、主に2008年度の札幌市のデータによりました。

犬の登録頭数は札幌市が84,348頭で前年対比4,253頭増(5.4%増)で、これまでと同様の増加傾向を示しています。北海道の登録犬頭数は27万頭と推定されています。また、札幌市の犬注射済票交付件数は、61,799件で交付率75%と横ばいです(この部分北海道のデータ無し)。

動物取扱業の届出・登録施設数は、札幌市の場合この5年間で業種数が358から703へと倍増し、施設数も216から573へと2.7倍となり、それに見合う旺盛な需要があると思われます。北海道は業種数1,208、施設数1,026で、やはり札幌市の取扱業が高いウェートを占めています。しかし、販売に伴うトラブルもあり、市の消費者センターによれば、この1年間で48件のトラブルが起きており、理由として「先天性の病気にかかっている」「購入を(店頭販売のため)キャンセルできない」などが主なものです。

犬猫の引き取り頭数は札幌市2,716頭、北海道は5,170頭で、うち譲渡数は合わせて1,518頭です。殺処分数は札幌市が1,927頭、北海道が3,212頭、合計5,139頭で、返還・譲渡率をみると札幌市は5年前との比較で11ポイント上昇し75.4%となっています。同じく殺処分率は10ポイント上昇し70.9%となっていますが、これは主に猫の「飼い主不明」が増加したことによります。

◎ 今後に向けて

動物福祉の理念は、本来社会状況に左右されるものでありませんが、今日の深刻な経済状況によって、社会に様々なひずみ、ゆがみが現れ人々の心まで侵食しているのでしょうか。悲惨で猟奇的な殺人や児童に対する虐待事件が後を絶ちません。

こうした時だからこそ、幼い時から動物を介して生命の大切さを培うことが必要だと思います。これまでの活動不足を反省し、万物の生命が尊ばれる社会を目指して微力を尽くして参りたいと思います。

(支部長 川口谷 正)

栃木支部

Tochigi Branch

◎ 相談活動

日常的に新しい飼い主探しの相談や、地域ねこの活動のアドバイスを行っています。宇都宮市の動物愛護推進員でもある佐藤副支部長の活躍に加え、宇都宮市保健所経由の相談も増えてきて、支部として行政と協働するような場面も出てきました。

飼育不適格者や動物取扱業者などの通報や相談は所管行政などにも連絡し、指導に入ってもらっています。

◎ 不妊・去勢手術の推進と新しい飼い主探し

不妊・去勢手術実績 総計：229

犬	オス	6	猫	オス	70
	メス	7		メス	146
犬計		13	猫計		216

新しい飼い主探し実績 総計：74

犬	成犬	12	猫	成猫	13
	子犬	26		子猫	23
犬計		38	猫計		36

不妊・去勢手術の実績は昨年度の倍以上という実績になり、支部の活動の拡大が数字で表れる結果となりました。新しい飼い主になっていただいた方には基本的に自身でご負担いただき、助成対象は、地域ねこの活動や会員が保護した犬やねこ、飼育不適格者への啓発が中心というのは変わりありません。

◎ 新しい飼い主探しと譲渡後出張しつけ教室

昨年からは宇都宮市で行った初の団体譲渡に関わるようになりました。後述の類似名称のNPO法人の、大量の行政への引き取りがきっかけとなり、結果的に実績がなかった宇都宮市の譲渡への道筋ができました。他の自治体では実績が少ないところが多い、成ねこの譲渡も行いました。

新しい飼い主探しは、可愛い子犬子猫だけでなく、性格が分かっていることや飼いやすいという理由で、成犬や成ねこももられて行っています。譲渡活動を通じて私たちも人の温かさに感謝しています。

また譲渡後のケアとして、警察犬と聴導犬の訓練士の資格を持つ先生がボランティアで新しい飼い主さんのお宅へ出張し、飼い方のカウンセリングや、しつけの講習を行うことで、譲渡後の人と犬の良い関係を築き、会からの譲渡犬が地域社会でも良いお手本になるように、お力添えをいただいています。

命をショップから買うのではなく、保護された動物の新しい飼い主になるのも素晴らしいことだという認識が、地域社会に生まれるように思っています。

◎ 県の動物愛護週間の行事に参加

栃木県の動物愛護フェスティバルに参加し、署名活動や来場者への相談に応じました。

◎ 宇都宮市保健所主催「ねこの困りごと相談会」

3月22日(日)に行われたねこの困りごと相談会への協力依頼があり、副支部長の佐藤獣医師が講師として、ねこの習性や、地域ねこの取り組みなどについて講演しました。2部構成で、前半は飼いねこの困りごとの相談に応じました。子ねこのいたずらの対策など、微笑ましい相談もありましたが、中には飼い主さんがねこの習性を理解していなくて問題が生じている深刻なケースがありました。

後半は地域ねこの相談会で、捕まえ方や何をしたら良いかも分からないという50代のご夫婦も来場しました。その日のうちに捕獲機を貸し出して、使用方法を説明し、後日不妊手術を終えることができました。

市の広報と自治会を中心とした地味な告知だったのですが、テレビや新聞の限られた情報しかない人が、この相談会でどうにか解決方法にたどり着けたという印象で、ねこに関して困っている人には貴重な機会だったと思います。情報環境が豊かでない人への相談環境を整えていくことも、動物福祉の実現のためにも大切なことだと思います。

◎ シェルター建設と運営

ダム予定地に置き去りにされたねこへのご支援、この場を借りて深く感謝いたします。

2008年度は、栃木支部がシェルターを1年間通して運営した初めての年でした。実際1年運営してみると、課題が色々出てきて、メンバーの中でもねこに対する考え方やお世話のやり方の違いなどが浮き彫りになった時もありましたが、その都度アイデアを出して課題を解決してきました。関わるメンバーは皆、動物が幸せであるように！ という気持ちなので、理解しあう良いきっかけになっています。

シェルターでのねこのお世話には、現在もメンバーが最低週3回は通っています。すでにダム予定地にいたときに高齢で、寿命を全うしなくなるコや、全く人に懐かなかつたコも高齢になり、人やご飯をじっと待つ姿も見受けられます。

山の中で餓えた経験のあるコが多いので、お腹を空かせるのだけは可哀想だと、皆様のご支援をいただきながら、何とかやりくりを続けています。引き続きご支援のほどよろしくお願ひいたします。

◎類似名称 NPO 法人の問題

以前にもご報告した、当協会と類似名称のNPO法人のひどい実態が徐々に明らかになり、対応に苦慮しています。

シェルター建設資金という名目で募金を集め、結果使途不明になっている募金詐欺の疑い、また保護や新しい飼い主探し、終生飼養をするということで多額の請求をして動物を自宅に收容し、それらの動物が衰弱死したり遺棄されたりという事例が明るみに出て、警察に詐欺の被害届が出されるケースも起こりました。宇都宮市議会議員の議会質問がきっかけで、一部地元新聞社による報道もありました。

支部としては、公衆衛生上の被害を受け、不適切飼育を目的の当たり前にしている近隣住民の方々と協力体制を築き、法人の代表に接触を試みたものの、一向に改善の気配はありません。市・県・警察など各担当行政への申し入れを行ってきましたが、対応の遅れにより活動は継続され、動物たちへの被害は拡大してしまいました。現在活動は休止しているものの、未だ団体としては存続しており、支部としても不適切飼育に関して発信する方向で、現在動き始めています。

このNPO法人だけではなく、終生飼います、里親を探しま

すという名目でお金を取って活動をしている団体の中には、非常に問題があるところが多く見受けられます。

一度命を引き受けたからには、手放すことは、非常に無責任であることは言うまでもなく、やむを得ず手放さなくてはならない事情がある時は、信頼できる相手であるか、ご自身の目でよく確認すべきです。何があっても命に責任を持てる状況にするために心がけていくことこそが、飼い主の責任ではないかと思えます。

支部としてはいっそうの不好・去勢手術の推進や啓発活動を通じ、こういった事件を未然に防止するような活動にも力を入れたいと思っています。(支部長 川崎亜希子)



NPO法人より保護した当初



トリミング後

新東京支部 Shin-Tokyo Branch

今年度は社会的な不況のおおりに受けてのことでしょうか、残念なことに遺棄や、行き倒れのイヌやネコを保護する機会が増えたように思います。また、ブリーダーの劣悪な飼育環境からレスキューされてきた動物もいました。毎度、無事に譲渡先が見つかるまで、当支部が所属するヤマザキ学園全体を挙げて譲渡活動を行っています。その成果があつてのことか、これまですべて新しい飼い主様へお渡しすることができております。

あらためまして、ご支援をいただきました方々の愛情と努力に感謝申し上げます。

◎ペット・ハッピーホーム・プログラム(譲渡活動)実績

イヌ	9
ネコ	22
合計	31

(※ネコ去勢：7)



◎ボランティアクラブとの活動

当支部学生会員が所属するボランティアクラブとの協力で「渋谷区ボランティアせせらぎ祭り」、動物愛護ふれあいフェスティバル、「2009 動物感謝デー」へ参加し、1991年から続く迷子札を無償配布するキャンペーンへ力を入れてまいりました。

◎シンポジウムへ参加

10月に行われた「動物保護施設の現状と課題～幸せな家庭犬になるために・シェルターワークの事例紹介～」(主催：優良家庭犬普及協会、後援：JAWS)へ新東京支部より支部長井上、副支部長木田、会員福山と山川の4名が活動報告を行わせていただきました。当支部のあるヤマザキ学園は保護施設と動物病院が併設されており、保護動物達へ恵まれた環境が提供できるよう努めています。

また、ヤマザキ動物愛護シンポジウム「動物愛護と青少年の教育を考える～動物達が教えてくれること～」へ上記4名がパネリストとして参加。「ヒトと動物が共に生きるためのルール」をテーマに活発な意見交換が行われました。当日は小学生から高齢者に至る幅広い年齢層と一緒に動物愛護・福祉について考えるよい機会となりました。

(支部長 井上留美)

横浜支部 Yokohama Branch

毎月一回の新しい飼い主探しの会は、支部会員及びボランティアの交流の場として重要な時間となっております。また相模支部の役員の方もこれに加わり、会終了後にはその日の報告と反省及び口大生・ヤマザキ学園のボランティアさんに佐藤獣医師が中心となり勉強会を行っています。支部会員数も3月現在793名になりました。動物福祉の啓発に寄与しております。



また、行政との協力を深め協議会へ参加し、動物愛護推進員を多数推薦しております。

譲渡する動物達の数も増え、幸せになった動物たちを見

るにつけ活動の輪を一層広げなければならないと実感します。シェルターとして、入院室を開放して下さり保護動物のお世話まで引き受けて下さっている兵藤動物病院に感謝しております。



月	日	内容
4月	20	新しい飼い主探しの会 ボランティア16名 終了後「サンフランシスコ SPCA & ベッツアンリミテッド」研修報告 菊池麻美さん(学生)
	26	神奈川アニマルボランティアの会 理事会 神奈川サポートセンター(兵藤・森田)
5月	18	新しい飼い主探しの会 ボランティア26名 終了後勉強会
6月	7	本部総会(兵藤・森田・園山・瀬川)
	14	神奈川アニマルボランティアの会 総会 神奈川サポートセンター(兵藤・森田)
	15	新しい飼い主探しの会 ボランティア25名 終了後勉強会
7月	20	新しい飼い主探しの会 ボランティア18名 終了後勉強会
8月	2	神奈川アニマルボランティアの会 理事会 旭ロータリークラブ集会所(兵藤・森田)
	5	横浜市旭区の「旭区民祭」に於いて、推進員で動物愛護の啓発事業を行うための準備会 兵藤動物病院ミーティングルーム
	14	野猫に餌をやり、近所から苦情が絶えない方の家に指導に行く 保健センター2名と共に(森田)
	17	新しい飼い主探しの会 ボランティア25名 終了後勉強会
9月	2	「旭区民祭」準備会 推進員6名 保健センター2名(兵藤・森田)
	9	人と動物との共生推進横浜協議会 第3回 村松ビル別館501会議室(兵藤・森田)
	19	新しい飼い主探しの会 ボランティア22名 終了後勉強会
10月	23	動物愛護センター(仮称)の運営及びボランティアの役割等の話し合い 横浜市衛生局保健センターより2名来訪
	26	「旭区民祭」推進員の役割及び動物愛護啓発 出席推進員6名 旭区鶴が峰駅周辺(兵藤・森田)
	31	動物愛護推進員研修会 桜木町横浜健康福祉センター 出席5名

9月	2	人と動物との共生推進横浜協議会 第1回 動物愛護センター(仮称)運営に係る意見聴取会 横浜市庁舎7階(兵藤・森田)
	6	神奈川県動物愛護協会 創立50周年祝賀会 展示ブースにて啓発活動(兵藤・森田)
	9	猫の餌やりの件で保健センターの方と話し合い (森田)
10月	12	人と動物との共生推進横浜協議会 第2回 村松ビル別館501会議室(兵藤・森田)
	18	「旭区民祭」準備会 推進員6名 保健センター2名(兵藤・森田)
	21	新しい飼い主探しの会 ボランティア26名 終了後勉強会
	23	動物愛護週間中央行事に出席 上野(兵藤・森田・園山)

11月	2	神奈川アニマルボランティアの会 理事会 旭ロータリークラブ集会所
	16	新しい飼い主探しの会 ボランティア19名 終了後 研修報告 日崎久仁子さん
12月	21	新しい飼い主探しの会 ボランティア16名 終了後勉強会
1月	18	新しい飼い主探しの会 ボランティア21名 終了後勉強会
	30	旭区役所くみんぎやらりーでの、動物愛護推進員 のこれまでの歩み展示会 準備 兵藤動物病院ミーティングルーム 推進員5名 保健センター2名(兵藤・森田)
2月	15	新しい飼い主探しの会 ボランティア21名 終了後「神奈川県動物保護センター」見学をし てきての感想 日大 VAC 堀江未沙子さん
3月	1	市民フォーラム「犬と遊ぼう・猫と遊ぼう」 横浜市獣医師会主催 桜木町社会福祉センター4階(兵藤・森田・園山)
	15	新しい飼い主探しの会 ボランティア12名 終了後勉強会
	30	人と動物との共生推進横浜協議会 第一総合ビル2階会議室(兵藤・森田)

◎ 電話相談 = 108 件

◎ 新しい飼い主探し実績

犬	40
猫	132
その他	4
合計	176

◎ 不妊・去勢手術実績 = 308 頭

(副支部長 森田トヨ子)

相模支部 Sagami Branch

◎ 「新しい飼い主探しの会」開催

毎月第3日曜日に横浜支部と合同で「新しい飼い主探しの会」を開催し、飼い主のいない動物を新たな飼い主の元へ送り出しました。

◎ 勉強会

新しい飼い主探しの会終了後、毎回当支部の支部長の佐藤が中心となって、ボランティアの参加者とともに動物福祉について勉強会を行いました。毎回、参加者の学生達からも活発な意見が出され、大変有意義な会になっていると思います。

◎ 飼い主のいない猫の不妊・去勢手術について

春には毎年子猫の保護依頼が増えますが、今年度は件数が少なく、喜ばしいことと考えております。それとともに、不妊・去勢手術の助成金申請も減りました。

以前不妊・去勢手術を受けた猫たちの、その後の状況をできるだけ把握するよう努めました。

猫たちが今後の数年間自由に安心して過ごせる環境を作るには、人々の温かい目が必要です。一匹でも多く、飼い主のいない猫から飼い猫になれるようお願いながら、周りの人たちに活動を理解していただけるよう努力しました。

(支部長 佐藤洋文)

南大阪支部 Minami-Osaka Branch

◎ 行政との対応

- (1) 府動物愛護推進協議会及び推進員研修会に出席
- (2) 府災害等動物救護マニュアル策定検討部会に出席
- (3) 大阪市動物愛護推進協議会に出席
- (4) 堺市動物愛護フェアに参加
- (5) 処分された犬、猫、アライグマの慰霊祭に参列
- (6) 事務所に通報のあったペットショップ及び繁殖場における動物虐待の件で府担当者に査察の申し入れ
- (7) 奈良県動物愛護管理センター訪問
- (8) 大阪市地域猫プロジェクトに協力

◎ 広報活動

- (1) 中之島まつりで動物虐待防止キャンペーン、募金活動
- (2) ペット法学会10周年記念講演を受講
- (3) ペットの写真展とミニコンサートを開催
- (4) 本部総会

◎ 電話相談 = 195 件

支部備え付けの捕獲箱がよく利用されています。事務所まで取りに来る人、宅配便で送る人、様々です。先ずは電話で申し込みがありますので、使用目的、獣医師名などを確かめ間違った使い方をされないように気をつけています。

毎年のことですが、助成金、手術、引き取り依頼、もらい手探し、ホームレス猫のエサやりについて、などが多いです。

4. 不妊・去勢手術助成金支給頭数

犬	メス	38	猫	メス	251
	オス	28		オス	123
犬計		66	猫計		374
犬・猫合計			440		

5. 犬・猫の新しい飼い主探し実績

犬	成犬	43	猫	成猫	7
	子犬	0		子猫	21
犬計		43	猫計		28
犬・猫合計			71		

(支部長 山移千鶴)

阪神支部 Hanshin Branch

◎ 行政との対応

- 平成20年10月23日、兵庫県動物愛護センター10周年記念行事に、支部長、副支部長、他4名と共に参加しました。多方面にわたるセンターの活動の中で、特に動物愛護事業として成犬の譲渡をより積極的に取り組んで頂きたいこと、センターの手術室・治療室を県民に開放し、地域猫活動の発展に協力して頂きたいと要望しました。
- 平成21年3月、第2回兵庫県動物愛護管理推進協議会に出席し、下記について協議しました。
 - ① 災害時の動物救護活動に係る協定書の締結について
 - ② 動物愛護管理推進目標について
 - ③ 動物愛護推進員制度の見直しについて

◎ 地域猫活動に関する報告

本年は特に中藤会の活動を紹介させていただきます。

- 不妊去勢手術実施数……937 匹
- 譲渡数……102 匹 (成猫、仔猫合わせて)

1匹でも幸せにしたいので、不妊去勢手術後、出来るだけ多くのネコにワクチン接種、エイズ・白血病の検査をしています。そのため手術依頼者の中でホームレスネコを家庭ネコとして飼ってくださる方が増え、又新しい飼い主さんからも大変喜んで頂いています。

2年前より、ご協力者がインターネットでの新しい飼い主探しをして下さり、獣医師の先生、その他ご支援して下さる方にも恵まれてこの活動を続けています。ホームレスネコにかかわって以来30年、この様な成果を取めることが出来ました。

本年はJAWS阪神支部を代表して環境大臣賞を頂きました。地元マスコミに大きく報道されたところ、多くの方々から

感謝と激励のお言葉を頂き、ネコを大切に思い、同じ志を持った方々と出会えたことを大変喜んでおります。



◎バザー・セールについての報告

動物との共生をめざし、不幸な繁殖防止の不妊去勢手術助成金のため、毎年定期的にバザーとセールを行なっています。

多くの会員の皆様の善意に支えられ、寄贈された物品を丁寧に分類、展示販売し、会員のコミュニケーションを図りながら、日夜努力を続けております。セール関係者皆様のご協力に感謝申し上げます。

宇治川セール …… 22回
神戸外国倶楽部バザー …… 1回
計 …… 23回
収益金 …… 612,301円

(副支部長 河合慶子)

◎不妊・去勢手術助成金支給頭数

犬	メス	5	猫	メス	1,220
	オス	11		オス	747
犬計		16	猫計		1,967
犬・猫合計			1,983		

◎譲渡頭数 (平成21年3月現在 確認出来た数に限定)

犬	38
猫	392
合計	430

徳島支部

Tokushima Branch

◎不妊・去勢手術助成金支給

犬	メス	27	猫	メス	196
	オス	7		オス	72
犬計		34	猫計		268
犬・猫合計			302		

猫の頭数が増加したのは、公園等での放浪猫を世話している方々と協力し、手術を行った結果です。昨年に引き続き、不妊手術1万円、去勢手術5千円で行いました。

◎動物愛護週間

- 動物愛護週間の行事として、協力病院において例年通り動物の健康診断を行いました。
- 会員4名、犬2頭とともに老人施設を訪問し、交流を持ちました。

(副支部長 伊月高憲)

◎新しい飼い主探し

犬	19
猫	43
合計	62

不妊・去勢手術と平行して、地元動物愛好家と協力しながら行いました。

◎学校飼育動物

本年度も学校飼育動物の治療・予防接種を実施すると共に、飼育者への指導・相談を行いました。

三重連絡所

Mie Liaison Office

友人知人に声をかけ昭和49年に入会し、その後三重連絡所としてまとまりました。

(連絡所長 山口順子)

適正管理・飼養、繁殖制限を基本に、家族の一員として終生飼養することを各自治体を訪問し理解と普及につとめ、現在に至っております。

Ⅶ 財務状況

◎財産の状況

(単位：千円)

	20年度	19年度
現預金	53,331	55,559
貯蔵品	514	877
動物救護基金	0	28,600
その他流動資産	214	1,901
固定資産	25,014	6,500
特定資産	23,514	0
災害対策基金	0	5,000
その他	1,500	1,500
資産合計	79,073	93,437
負債合計	12,122	26,580
正味財産	66,951	66,857

当年度は前年度の動物救護基金と災害対策基金の支出実績を勘案し、両基金を、動物救護基金として統合し、特定資産に計上することとした。

また、前年度確定債務としたものを費用の内容を勘案し、将来の支出額を特定資産として積立た他、退職給付引当預金も特定資産に計上した。

◎収支の状況

(単位：千円)

	20年度	19年度
前期繰越額	66,857	57,250
会費収入	7,440	8,262
募金収入	12,113	12,962
寄付金収入	41,234	79,242
その他収入	263	2,849
当期収入合計	61,050	103,315
動物福祉事業費	50,387	63,363
一般経費	22,781	19,742
事業経費	27,606	43,621
管理費	14,852	12,746
募金等関連経費	11,857	17,599
当期支出合計	77,096	93,708
過年度修正	16,140	0
次期繰越額	66,951	66,857

当年度は年度後半からの経済情勢の急変を反映し、収入は大幅に減少した。前年度ご遺贈等による大口寄付があったことを勘案しても、減少傾向は継続している。

事業費は前年度確定債務とした費用を修正し、将来の支出予定額を特定資産として積み立てたこともあり、大幅に減少した。

管理費は公益法人への移行準備や、事務局長の交代等もあり増加した。

◎平成21年度予算(支部を含む)

(単位：千円)

前期繰越額	96,280
会費収入	27,950
募金収入	14,620
寄付金収入	18,950
その他収入	250
当期収入合計	61,770
動物福祉事業費	54,830
一般経費	31,250
事業経費	23,580
管理費	15,400
募金等関連経費	12,000
当期支出合計	82,230
次期繰越額	75,820

平成21年度予算は前年度実績を踏まえて年度事業方針を実現すべく編成した。

平成20年度後半から始まった経済状況の悪化は21年度も続くものと思われるが、必要と思われる事業は継続実施することとしている。このため、当年度の収支は21百万円の支出超過となる見込みである。

今後における事業基盤の強化・拡大のためには会員増を含め、より一層財務基盤の拡充・強化を図る必要がある。

なお、平成21年度から支部予算及び実績を統合管理することとした。

現在、当協会では新規会員を募集中です！

JAWSの動物福祉活動を、
もっと多くの方々に理解し応援していただきたい。
そして日本を「命あるものをいつくしむ」やさしい思いやりの国にしたい。

そんな願いをこめて、日々の努力を重ねておりますが、
私たちの活動資金は全て、会員の方々からの会費と
一般からの寄付によってまかなわれております。
私たちの考え方や活動にご賛同いただける方に、是非会員になっていただき、
動物福祉事業の輪を更に拡げて、ひとつでも多くの命を救いたい。

それが私たちの願いです。

新しい仲間が増えることを祈りつつ、
今後とも変わらぬご支援とご協力のほどを
心からお願い申し上げます。

ひとつでも多くの命を救うために！

お申込・ご連絡・お問合せは
電話(03-5740-8856)又はFAX(03-5496-0030)でお願い致します。



“Happy Face of the Year”

～すべての生きものに尊厳を～

アルバート・シュヴァイツァー

Japan Animal Welfare Society

〒141-0031 東京都品川区西五反田 8-1-8 中村屋ビル内
電話(03)5740-8856 ファックス(03)5496-0930
ホームページ <http://www.jaws.or.jp>